

無所属 西東京市議会議員

森てるおの なんでもリポート 第29号



2005年11月発行（隔月発行） 定期購読料：年間1,000円（送料含む）
編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目

気をつけよう！甘い言葉に落とし穴！ —「他市並みの報酬」は「他市並みの議員数」から???—

市民から出された「28人以下に」との陳情をきっかけに、議員提案で「28人に」という議案がだされて、議員定数の見直しが議論されています。市民が議員に「数を減らせ！」と要求するのは痛烈な議員批判なのですが、その点にどれだけの議員が思い至っているのでしょうか。何人にしようとも「上限は34人」という法律の規定以外の根拠は何もありません。「はいはい減らしますよ」という裏事情も胡散臭いし、「減らさない」という議員の主張にも身勝手さを感じます。

議員は市民が雇うもの

人を何人雇うかは「給料の総額をいくら出せるか」が大枠です。一人当たりの給料が高ければ人数は少なくなるし、低ければ多くなります。給料をいくらにするかは、仕事の中身次第です。また、必要経費を全部含めた「請負給」にするか、経費を別にした「生活給」にするかで額面は違ってきます。市民が議員を雇う場合も同じ様に考えていいのではないのでしょうか。何をさせるためにいくら払うのか、その総額はいくらになるのかは、それぞれの市で市民が決めればよいことです。

「他市並み」の狙いはどこに？

相場はありませんが、行政用語に「同規模市」というものがあります。西東京市は人口15万人以上20万人未満です。今の条例で決まっている定数（西東京市は30人）で比較してみました。「定数平均は28.8人。議員一人当たりの人口数はちょうど真ん中。標準財政規模もちょうど真ん中。議員に支払う報酬総額は西東京市が最も少ない。標準財政規模と比べた報酬総額の割合は下から2番目。」決して飛びぬけているわけではありません。「他市並み」でないものは議員個人の年間報酬だけです。現在約850万円。「他市並み」には200万円ほど及びません。「他市並み」の狙いはここか！

ほかに理由はないの？

一般的に言って、定数が少なくなると政党や宗教団体などの背景を持たない新人議員は当選が難しくなります。私のようなうるさ型の議員をこれ以上生み出たくないということでしょうか。政党は本質的に閉鎖的です。メニューを考えるのは自分たち、そのための情報をすべて市民に提供することなどありません。市民に判断させれば、自分たちの存在意義がなくなります。議会全体が政党化されてしまえば、それが当たり前になります。

現状は「他市並み」

私は、誰でもが議員になれるように、基本的な生活費は保障し、仕事をするための活動費は別途支払にする、そして市民が出せる費用総額の範囲で議員定数は最大にすればいいと思います。議員活動は自由ですが、その活動を市民が議員活動と考えるかどうか、活動費の使い道を見て市民がチェックできる状態を作りましょう。定数は30人のまま、まだ現状を変える条件は整っていません。

年末交流会のお知らせ

少し気が早いですが忘年会のご案内です。まだ、会場を確保しただけですが、準備の都合で、ご参加いただける方のおおよその人数を把握しておきたいと思っています。ご意思の有無をお知らせください。

TEL : 0424-50-7147 (留守電には「何町何丁目の誰々、参加するぞ!」とでも入れてください。)

FAX : 0424-50-7148

E-mail : mori@moriteruo.com

○日 時 : 12月23日 (金・祝日) 午後6時から

○会 場 : 「南町地区会館」(南町3丁目、地図参照)です。

○参加費 : 1,000円 (幼児無料、こども (小学生以上) 500円)

料理の多くは森てるおと連れ合いが手作りします。食材はふだん使っている共同購入の有機野菜や自然食品店のものなどを使います。素材がいいから、味はおいしいですよ。



清溪川の清流復活

韓国に行ってきました。初めての海外旅行です。留学生の保証人をしているので「いずれ留学生の母国に行かなくては」と思っていたものの、外国に行くつもりはまったくありませんでした。その留学生の一人が韓国で結婚式を挙げるというので出かけてみました。韓国での結婚式はなかなか興味深いものでしたが、今回は別の話題です。

ハイウェイバスを降りて、ホテルまで(地下鉄一駅分くらい)歩いていく途中、驚くほど多くの人が川の中を覗き込んでいました。当日は日曜日、翌日が建国記念日で連休とはいえ、何という人出かと驚き、そういえば「ソウルで清流復活」というベタ記事を機内で見たと気づきました。ちょうどセレモニー当日だったのです。川の上にフタ掛けをしてその上に自動車道路があったものを、全部撤去し、川を復元したのでした。総工費480億円と聞きました。以来連日、河川敷を散策したり、兩岸をつなぐ飛び石を渡ったりと、多くの市民が楽しんでいるそうです。大動脈の道路を撤去して、清流を復活させるなど、日本の政治家には発想できないんじゃないでしょうか。



○森てるおの活動記録 (2005年9~10月)

※主なものを掲載しています。

- | | | | |
|------|------------------------------|-------|------------------|
| 9月1日 | 提出議案の説明 | 10月1日 | 議員インターンシップ最終報告会 |
| 3日 | スタッフ会議 | 2日 | 韓国旅行(～4日:私用) |
| 6日 | 議会運営委員会 | 6日 | 三多摩議員ネット世話人会 |
| 7日 | 「再発防止研修(都教委)」抗議集会
住基ネット訴訟 | 8日 | スタッフ会議 |
| 9日 | 9月議会開会(～29日)
「憲法」駅頭宣伝 | 9日 | 市民自治井戸端会議 |
| 11日 | 市民自治井戸端会議 | 11日 | 都市計画審議会 |
| 23日 | 住基ネット学習会 | 14日 | 住基ネット学習会 |
| 24日 | 公害道路ストップの会 | 18日 | 建設環境委員会行政視察(19日) |
| 27日 | 財政講座 | 20日 | 議会報編集委員会 |
| 28日 | 都市計画審議会・水曜トークサロン講演 | 21日 | 決算委員会 |
| | | 25日 | 駅頭宣伝(～10月10日) |
| | | 29日 | 公害道路ストップの会 |